

平成29年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告

委員長 水野 勉

1. 当年度活動計画及び実績

1.1 研究会

開催年月日	H28/1/26-27	H28.6/1,2	H28.6/22-23	H28.7/6,7	H28.8/8,9	H28.11/30-12/1	H28.12/	H28.2/1,2
テーマ (共催機関)	リニアドライブ技術一般, 磁気浮上技術, リニアドライブの応用, および磁気応用一般	電磁アクチュエータシステムのための磁性材料(軟磁性および硬磁性)とその磁気現象技術, 回転機・リニアドライブ一般 (RM, MSJ)	磁気センサ, 高周波磁気, リニアモータ・アクチュエータ, リニアドライブ技術一般, および磁気応用一般 (MAG)	電気鉄道・リニアドライブ一般 (TER)	小形モータ一般・永久磁石モータ一般/リニアドライブ一般/家電民生一般 (RM, HCA)	電磁アクチュエータシステムのための磁性材料(軟磁性および硬磁性)および磁気現象の技術調査, リニアドライブ一般 (MAG, MSJ)	磁性材料, モータドライブ一般, 磁気支持・リニアモータ一般 (MAG, MD)	リニアドライブ技術一般, 磁気浮上技術, リニアドライブの応用, および磁気応用一般
場所	大阪 (大阪大)	長野 (シナノケンシ)	長野 (信州大)	佐賀 (唐津市民交流プラザ)	東京 (電気学会)	韓国 (済州島)	大分 (別府)	大阪 (大阪工大)
日数	2	2	2	2	2	2	2	2
論文数 (実績/予定)	22/20	6/10	18/20	16/10	/20	/20	/20	/20
論文累計 (実績/予定)	22/20	28/30	46/50	62/60	/80	/100	/120	/20
参加者数	45							

1.2 技術会合

(技術委員会が主催・共催するシンポジウム, 見学会, 産業応用フォーラム, 講習会, 他学会との共催行事など国内の関連行事)

開催日	会合種類	会合名	場所	実施状況
7/7	見学会	JR九州	佐賀	
8/30	D部門大会シンポジウム	リニアモータの上手い使い方	函館	6件
1/	産業応用フォーラム	未定(磁気浮上技術)	未定	
3/14	全国大会シンポジウム	未定(MEL, MDD)	福岡	

2. 次年度活動予定

2.1 研究会

開催年月日							
テーマ (共催機関)							
場所							

2.2 技術会合 (技術委員会主催共催などの関連行事)

種別	開催日	会合名	場所	特記事項
シンポジウム	2018/5/23 ~ 25	電磁力関連のダイナミクスシンポジウム	長野	主催

### 3. 国際活動計画及び実績

	開催日	共催機関	会合名	場所	特記事項
当年度計画・実施	9/6-8		LDIA 2017	大阪工業大学	主催
次年度以降予定	2018		MAGLEV 2018	ロシア サンクトペテルブルグ	
	2019		LDIA 2019	スイス	

### 4. 論文関係

#### 4.1 部門誌特集号計画

特集テーマ	和文／英文	日程	特記事項

#### 4.2 D部門HP「注目論文」の選定及び更新

	タイトル	書誌事項	更新日
1	浮上コイル側壁配置磁気浮上方式の特性	Vol. 108 (1988) No. 5 439-446	
2	永久磁石形リニア同期モータの静推力特性	Vol.111 (1991) No.6 482-488	
3	リニア同期モータのディテント力を低減する設計法	Vol.117(1997) No.4 487-492	

※できれば1件は会員外でも閲覧できる論文を選定(IEEJ Journal of Industry Applications (英文論文誌), または10年以上前のD部門誌)

### 5. 特記事項

- ・国際会議 第11回産業用リニアドライブ国際シンポジウム LDIA2017 (9/6～8 : 大阪工業大学) 主催  
第24回マグレブ国際会議 MAGLEV2018 (ロシア サンクトペテルブルグ)
- 第12回産業用リニアドライブ国際シンポジウム LDIA2019
- ・国内会議 電磁力関連のダイナミクスシンポジウム (2018/5/23～25 : 長野市生涯学習センター) 主催

以上